

シグマ研究委員会・核データ専門部会
F P核データワーキンググループ会合議事録

日 時： 平成3年1月24日（金） 9:10~17:00

場 所： 日本原子力研究所 東海研究所 研究2棟222室

出席者： 中川、中島（原研）、瑞慶覧（日立）、松延（住友原工）、
渡部（川重）、川合（東芝）

配布資料 前回議事録（12/20）

FPND-91-24 川合からDr. WrightへのNEANSC SG10への参加依頼の手紙
（1992年1/9）

FPND-91-25 Dr. Gruppelaarから川合宛の手紙（1992年1/22）

FPND-91-26 FP吸収断面積評価の判定のまとめ（渡部委員）

FPND-91-27 STEK炉 中心部スペクトル計算進行状況（渡部委員）

FPND-91-28 Ndの非弾性散乱断面積データの調査（杉委員）

議 事

1. 前回（12/20）議事録の確認

2. 一般報告

・ 配布資料FPND-91-24, 25に基づいてNEANSC核データ評価国際協力SG10に関する手紙のやりとりとスコープについて川合委員から報告があった。LANLのDr. Youngからの助言により、ENDF/B-VIのF P核種核データの評価にたずさわったORNLのDr. Wrightをメンバーに追加することとし、それぞれの作業分担を明確にした。また、STEKの積分実験に関するレポートが確認できた。

・ このSG10作業の期間について瑞慶覧委員から質問があり、一応、5月のF P核データ専門家会議にて評価の方針をかため、1992年度中にも収束させることで活動することとした。そのため、作業の優先度もこれまで通り、軽い核と重い核の両方を見ていくこととする。

3. 作業進捗状況の報告

・ 配布資料FPND-91-26, 27に基づいてJENDL-3の積分テストの検討結果の要約を作成したことと、今後の作業項目が渡部委員から報告された。

・ 評価値の重ね合わせのプロット図は、全て完成していること、また、非弾性

散乱断面積のグラフ作成のため、EXFORデータのリストを担当者（Zr, Pd: 千葉委員、Mo: 中島委員、Nd: 杉委員）宛送付した旨の報告が中川委員からあった。

・ 配布資料FPND-91-28に基づいてNdの非弾性散乱断面積の調査結果が報告された。

4. 集中作業

- ・ 積分テスト（渡部、瑞慶覧、松延の各委員）

入力データのチェックとしてone-throughのランを行い問題のないことを確認した。

SLAROMで作成した定数を用いて、CITATIONによる計算を行い、結果をECNのスペクトルと比較した。低エネルギーで低くなるが、さらに検討する。

ECNの解析レポートECN-176にてデータ解析の詳細を調査した。62核種のC/E値が与えられている。スペクトルの不確かさは、ECN-35を引用している。

- ・ グラフの作成（中島委員）

Mo-92の非弾性散乱断面積の比較図を作成した。

- ・ 評価値のプロット図の送付準備（中川、川合の両委員）

JENDL-3, ENDF/B-VI, JEF-2の全断面積、非弾性散乱断面積、弾性外散乱断面積に加えて、捕獲断面積の比較図を参考として作成した。

また、上記データを関係者に送付すべく図の記号表を作ったりした。

5. その他

次回： 日時 2月26日（水）9:10～17:30

場所 原研東海研究所

議題 作業進捗状況の報告

集中作業（非弾性散乱断面積のレビュー、計算など
積分テスト）

宿題事項：

散乱、非弾性散乱断面積のworthに対する寄与の表の形式を決める。

（渡部、瑞慶覧両委員）

非弾性散乱断面積の比較図を作成しておく。（中島、中川、千葉、杉の各位員）

比較図の関係者への送付。（川合委員）

以上